

日本生命倫理学会 会報 No.63

●目次

第30回年次大会参加のお誘い……………1	第30回定期総会のお知らせ(当日資料)
若手論文奨励賞に関するお知らせ……………2	……………3~8
学会誌通巻29号発行のお知らせ……………2	会費未納の方へのお知らせ……………9
次年度年次大会のお知らせ……………2	事務局からのお知らせ……………9
	新規ウェブサイト制作の提案……………10

日本生命倫理学会事務局
〒112-0012
東京都文京区大塚5-7-11-612
Tel. & Fax. 03-6231-0576
E-mail jab@nifty.com
URL <http://ja-bioethics.jp/>

◇ 第30回年次大会参加のお誘い ◇

「知の協創としての生命倫理学～学会30年の奇跡と今後の展望～」を大会テーマとする第30回日本生命倫理学会年次大会（瀬戸山晃一大会長）が、京都府立医科大学下鴨キャンパス（京都市）において開催されます。「プログラム」及び「参加申込振込用紙」は発送済みです。当日会場受付でもお申込みいただけます。

会期：2018年12月8日（土）～9日（日）

会場：京都府立医科大学下鴨キャンパス 稲盛記念会館/京都学歴彩館

〒606-0823 京都府京都市左京区下鴨半木町1-29

企画シンポジウム

■大会企画シンポジウムⅠ「海外の生命倫理学者から学会30周年に向けてのビデオメッセージ」

■大会企画シンポジウムⅡ「学際的『知の協創』としての生命倫理学」

オーガナイザー：瀬戸山 晃一

■大会企画シンポジウムⅢ「日本生命倫理学会の役割と今後の展望」

シンポジスト：木村 利人（第7期 代表理事）、大林 雅之（第8期 代表理事）

オーガナイザー：松原 洋子

■大会企画 若手シンポジウム「若手生命倫理研究者の/と考える生命倫理の今まで、現在、これから」

■学会企画シンポジウム「ヒト生殖細胞系ゲノム編集をめぐる倫理—その論点と公的議論のあり方—」

シンポジスト：石井 哲也、島菌 進、建石 真公子

オーガナイザー：安藤 泰至、香川 知晶

コメンテーター：美馬達哉

国際シンポジウム

■「脳組織バンク・ニューロモジュレーション・人工知能：アジアにおける経験に基づく 哲学的省察と実践的視座」

シンポジスト：齊尾 武郎、Young-Joon Ryu、Daniel Fu-Chang Tsai

オーガナイザー：栗原 千絵子

■「New Technology and Old Desire — An International Dialogue of Ethical Problems on Genetics and Reproductive Medicine」

シンポジスト：Justin Oakely、Robert Sparrow、Catherine Mills、伊吹 友秀

オーガナイザー：山本 圭一郎、児玉 聡

◇ 2017・2018年度若手論文奨励賞授賞者・講演開催のお知らせ ◇

2017年度（審査対象：「生命倫理」通巻28号掲載論文）、2018年度（審査対象：「生命倫理」通巻29号掲載論文）の若手論文奨励賞（Japan Association for Bioethics Young Researcher Award, 略称 JAB Young Researcher Award）の授賞者は、以下の2名の方々に決定いたしました。

2017年度 岡島 志野 氏 「手術看護における倫理的課題に働きかける実践知」
2018年度 福家 佑亮 氏 「頭脳流出と移動の自由」

来る第30回年次大会において、若手論文奨励賞受賞者による講演を下記の通り開催いたします。多くの方々の御来場をお待ちしております。

日 時： 2018年12月9日（日）10:40～12:10
場 所： F 会場（稲盛記念会館2F:204）
発表者： 2017・2018年度 若手論文奨励賞受賞者 2名
※本年度より同年度内受賞者にもご講演いただくことになりました。

- 第1講演 岡島 志野 氏
- 第2講演 福家 佑亮 氏

◇ 2019年度の若手論文奨励賞審査対象について ◇

来年度の審査対象は、2019年度発行「生命倫理」通巻30号です。
当該号の投稿期限である2019年1月15日現在満40歳未満の若手学会員が第一執筆者である投稿論文です。授賞者へは賞状と副賞を授与致します。多数の投稿をお待ちしております。
※既に受賞された方は本賞選考の対象外となります。

◇ 『生命倫理』通巻29号発行のお知らせ ◇

- 1) 学会誌『生命倫理』通巻第29号が9月29日に発行されました。本年度会費を10月2日迄にお振り込み下さった正会員には既に発送させていただきました。その後お振込いただいた方へは順次お届けしております。
- 2) 学生会員・会友の皆様は、会員価格2,000円にて学会誌をお求めいただけます。ホームページから注文用紙をダウンロードし、ご記入の上、事務局までファックスまたは電子メールにてお送り下さい。

◇ 次年度年次大会開催地・開催日程のお知らせ ◇

2019年度第31回日本生命倫理学会年次大会は、東北大学 浅井篤氏を大会長に、東北大学 川内キャンパスにて12月7日（土）～8日（日）開催予定です。詳細は決定次第、学会ホームページなどでお知らせいたします。

◇ 第30回定期総会のお知らせ ◇

下記の通り、第30回日本生命倫理学会定期総会を開催いたしますので、ぜひご出席下さい。

なお、このお知らせは当日資料となりますので、総会にご持参下さい。

2018年度	
第30回 日本生命倫理学会 定期総会	
日時 :	2018年12月9日(日) 13:45~15:00
場所 :	
議題 :	<ul style="list-style-type: none"> 1. 代表理事挨拶 (代表理事) 2. 事業報告及び委員会報告 (事務局長・各委員長) 3. 2017年度決算(案)及び会計監査報告 (事務局長・監事) 4. 2019年度予算(案) 審議 (事務局長) 5. HPの改訂について 6. 年次大会報告 (各大会長) <li style="padding-left: 20px;">第29回(宮崎大学)、第30回(京都府立医科大学) 7. 本年度若手論文奨励賞 発表、授与、受賞者挨拶 (研究開発委員長・代表理事・受賞者) 8. その他

議題2. 資料-1

2017年度～2018年度事務局報告

1. 会員数、会員動向、並びに会費納入状況 (2018年10月8日現在)

会員数	1192名 (入会申込受付者を含む)		
納入済	753名		
未納	439名	2018年度のみ未納	323名
		2018年度及び2017年度未納	75名
		2018年度、2017年度並びに2016年度未納	41名

2. 新入会員数

2017年度	59名
2018年度	62名 (2018年10月15日現在)

3. 退会者数

2017年度	76名
2018年度	1名 (2018年10月15日現在)

◇ 日本生命倫理学会活動報告 ◇

(2017. 12 月～2018. 11 月)

年	月	日	活動状況
2017年	12月	16日～ 17日	第29回年次大会（宮崎大学） 2017年度第2回理事会、2017年度第1回評議員会
2018年	1月	16日 28日	2017年度 第3回理事会開催 「生命倫理」通巻29号 第1回編集委員会
	3月	25日	ニューズレターNo. 63発行（第29回年次大会座長報告集）
	4月	1日	会報No. 62発行 「生命倫理」通巻29号 第2回編集委員会
	6月	10日	「生命倫理」通巻29号 第3回編集委員会
	7月	12日 17日 30日	国際交流委員会 理事会(臨時) 会計監査
	9月	6日 29日	第1回研究開発委員会 「生命倫理」通巻29号発行
	10月	9日 14日	第2回研究開発委員会 2018年度第1回理事会

2017年度決算・監査報告 (1-2)

日本生命倫理学会 2017 年度 一般会計 収支決算書

(2017年4月1日 ~ 2018年3月31日)

収入の部

科目	細目	予算額	決算額	差異
	前年度繰入金	20,000,000	20,917,270	917,270
	年次大会貸付金返金分	0	500,000	500,000 注1.
受取会費	入会金、本年度、過年度会費等	7,898,000	7,138,000	△ 760,000
事業収益	学会誌売上・NII著作権使用料・還元金	500,000	383,816	△ 116,184
雑収益	受取利子等	5,000	77	△ 4,923
収益計		8,403,000	8,021,893	△ 381,107
収入合計		28,403,000	28,939,163	536,163

支出の部

1. 事業費支出

科目	細目	予算額	決算額	差異
支払手数料	会費振込負担分、交通費振込等	180,000	123,293	56,707
印刷製本費	会報、NL、学会誌等	1,600,000	1,913,472	△ 313,472 注2.
研究活動費	研究開発委員会	50,000	16,110	33,890
	国際交流委員会	600,000	0	600,000
	企画委員会	100,000	0	100,000
	編集委員会	100,000	46,558	53,442
	部会制関連	600,000	0	600,000
	若手研究者育成金	300,000	0	300,000
会議費	役員会	350,000	183,502	166,498
年次大会費	年次大会援助金800,000・貸付金500,000	1,300,000	1,000,000	300,000 注3.
事業費支出計		5,180,000	3,282,935	1,897,065

2. 管理費支出

給与	事務員2名及び臨時アルバイト分	2,500,000	2,915,802	△ 415,802 注4.
旅費交通費	事務員通勤費、役員会議出席旅費	1,500,000	1,287,318	212,682
支払報酬費	税理士報酬、講演料、デザイン料等	300,000	330,000	△ 30,000 注4.
法定福利費	労災・雇用保険料	90,000	19,106	70,894
通信運搬費	通信費、郵送代金等	800,000	988,802	△ 188,802
備品消耗品費	事務備品消耗品	100,000	119,554	△ 19,554
広告宣伝費	電子媒体 (HP管理運営・学会誌電子化等) 関連費	350,000	307,200	42,800
事務所管理費	事務局賃料	600,000	1,178,616	△ 578,616 注5.
水道光熱費	電気料金	30,000	28,250	1,750
租税公課	印紙代	3,000	0	3,000
雑費	雑費	10,000	0	10,000
管理費支出計		6,283,000	7,174,648	△ 891,648
予備費支出計		500,000	0	500,000
支出合計		11,963,000	10,457,583	1,505,417

当期収支差額	△ 3,560,000	△ 2,435,690
--------	-------------	-------------

次年度繰越金	16,440,000	18,481,580	2,041,580
--------	------------	------------	-----------

注1. 第29回大会(宮崎大学)より返金

注2. 2016年度より、臨時の印刷物(選挙関連)を含む

注3. 第29回大会(宮崎大学)へ援助金・貸付金(仮払金)支出

注4. 現金主義によって、支給した給与・報酬、納付した給与源泉所得税、徴収した雇用保険料の合計額を表示
当期は選挙手伝いのアルバイト代を含む

注5. 事務所移転に伴う引越費用・敷金等約51万を支出、家賃が月額50,000から73,000に増額

2017年度決算・監査報告(2-2)

日本生命倫理学会 2017年度特別会計(研究活動基金)収支決算書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

科目	予算	決算額	差異
I 収入の部			
前年度繰入金	2,051,454	2,051,454	0
寄付金	0	1,117,906	1,117,906 注1.
雑収入	0	18	18
収入計	2,051,454	3,169,378	1,117,924
II 支出の部			
会議費	0	0	0
研究活動費	0	0	0
給与	0	0	0
支払報酬費	0	0	0
振込手数料	0	0	0
支出計	0	0	0
次年度繰越金	2,051,454	3,169,378	1,117,924
当期収支差額	0	1,117,924	

日本生命倫理学会 2017年度特別会計(研究助成基金)収支決算書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

科目	予算	決算額	差異
I 収入の部			
前年度繰入金	650,579	650,579	0
雑収入	0	7,000	7,000
収入計	650,579	657,579	7,000
II 支出の部			
旅費交通費	0	80,180	△ 80,180 注2.
奨励金	100,000	50,000	50,000 注3.
振込手数料	0	0	0
支出計	100,000	130,180	30,180
次年度繰越金	550,579	527,399	△ 23,180
当期収支差額	△ 100,000	△ 123,180	

注1. 第28回年次大会(大阪大学)より、奨励金残金の寄付を受ける

注2. 旅費交通費は若手論文奨励賞受賞者が年次大会における授賞式・発表出席のため支出



注3. 2017年度若手論文奨励賞受賞者は1名

監査報告書

日本生命倫理学会 2017年度(2017年4月1日から2018年3月31日迄)の一般会計および特別会計決算につき監査の結果、その処理が適正であると認めます。

以上

2018年 8月 1日

監事 丸山 英二 
 監事 清水 哲郎 

2019年度予算

日本生命倫理学会 2019年度 一般会計 収支予算書 (案)		
(2019年4月1日から2020年3月31日迄)		
収入の部		
科目		予算額
	前年度繰入金	20,000,000
	年次大会貸付金返金分	500,000
受取会費	入会金、本年度、過年度会費等	7,500,000
事業収益	学会誌売上・NII著作権使用料・還元金	400,000
雑収益	受取利子等	1,000
収益計		8,401,000
収入合計		28,401,000
支出の部		
1. 事業費支出		
科目		予算額
支払手数料	会費振込負担分、交通費振込等	10,000
印刷製本費	会報、NL、学会誌等	950,000
		100,000
研究活動費	研究開発委員会	100,000
	国際交流委員会	300,000
	企画委員会	100,000
	編集委員会	100,000
		100,000
	部会制関連	100,000
	若手研究者育成金	0
会議費	役員会	150,000
年次大会費	年次大会貸付金	500,000
事業費支出計		2,510,000
2. 管理費支出		
給与	事務員2名及び臨時アルバイト分	2,500,000
旅費交通費	事務員/通勤費、役員会議出席旅費	230,000
支払報酬費	税理士報酬、講演料、デザイン料等	330,000
法定福利費	労災・雇用保険料	20,000
通信運搬費	通信費、郵送代金等	253,000
備品消耗品費	事務備品消耗品	50,000
広告宣伝費	電子媒体 (HP管理運営・学会誌電子化等) 関連費	1,300,000
事務所管理費	事務局賃料	880,000
水道光熱費	電気料金	30,000
租税公課	印紙代	0
雑費	雑費	0
管理費支出計		5,593,000
予備費		3,000,000
特別予算案 (ホームページ改定費用)		3,000,000
支出合計		11,593,000
次年度繰越金		16,808,000

日本生命倫理学会 2019年度特別会計（研究活動基金）収支決算書（案）	
（2019年4月1日から2020年3月31日迄）	
科目	予算額
I 収入の部	
前年度繰入金	2,051,454
寄付金	0
雑収入	50
収入計	2,051,504
II 支出の部	
会議費	0
研究活動費	600,000
給与	0
支払報酬費	1,000,000
振込手数料	0
支出合計	1,600,000
次年度繰越金	451,504
日本生命倫理学会 2019年度特別会計（研究助成基金）収支決算書（案）	
（2019年4月1日から2020年3月31日迄）	
科目	予算額
I 収入の部	
前年度繰入金	650,579
雑収入	30
収入計	650,609
II 支出の部	
旅費交通費	0
（優秀論文賞、優秀講演賞、ポスター賞）	150,000
振込手数料	0
支出合計	150,000
次年度繰越金	500,609
2/2	

◇ 重要なお知らせ 会費未納の方へ ◇

1) 会費未納の方には郵便振込用紙が同封されています。大至急お振り込み下さい。

会費をお振り込み下さった正会員には、当該年度発行の学会誌「生命倫理」をお送りいたします。

なお、既に行き違いにてお振込の場合は何卒ご容赦下さい。

2) 退会をご希望の方は、当該年の前年度までに規定の退会届をご提出下さい。

年度の途中での退会につきましては、お申し出いただきました年度内の会費はお納めいただいております。

3) 2年以上会費未納の会員・会友は、退会扱いとなり（会則第4条7項2号）、正会員・学生会員の方につきましては、年次大会での発表・学会誌投稿等の資格を失うこととなりますのでご注意下さい。

□銀行振込の場合は下記の口座へお願いいたします。

※振込の際は、必ず会員名義口座からか、会員名がわかるようにお振込下さい。

会費 入会金：1,000 円 正会員：7,000 円 学生会員・会友：3,000 円

振込先口座名：日本生命倫理学会（ニホンセイメイリンリガクカイ）

■郵便振替口座：00140-5-5755

（他金融機関からは、ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキョウ店）当座 0005755

■三菱 UFJ 銀行：西池袋支店普通 2011797

◇ 事務局からのお知らせ ◇

【各種届出・申込について】

会員の皆さまへ送付している重要な郵便物が、宛先不明で数多く返送されてきております。住所や所属先が変更になりましたら、必ず事務局までお届け下さい。

各種変更届、学会誌購入申込、その他の申請書類につきましては学会ホームページの「各種手続き」へお進みいただければダウンロードできます（ただし退会届につきましてはございませんので必ず事務局までご連絡下さい。ご記入いただきましたら、郵送、ファックス又は電子メール添付にて事務局までお送り下さい。ダウンロードができない方は、電話・電子メールにてお問い合わせ下さい。

新規ウェブサイト制作の提案

日本生命倫理学会・情報委員会

1. はじめに

日頃より会員の皆様におかれましては、情報委員会の活動へのご理解ご協力、誠に感謝申し上げます。情報委員会では、学会ウェブサイトの方向性について議論を重ねて参りました。現状の日本生命倫理学会のウェブサイト (<http://ja-bioethics.jp/>) は、改善が図られてきてはいるものの、情報の迅速な公開、会員の皆様のユーザビリティという観点からさらに改善の余地があります。また、会員の皆様の諸手続きに関して、郵送など非電子的な方法で行われているものの比率が非常に高く、そのことは会員の皆様のご負担になっており、また、予算およびセキュリティの観点からも改善の余地があります。また本学会にはまだ英文のウェブサイトもありません。

そこでこの度、日本生命倫理学会のウェブサイトを改築し、学会運営の電子化を推進し、国際化を推進することを提案させていただきたいと考えます。

2. ウェブサイト構築の目的

- 英語版ウェブサイトの作成：英語ページがないことは本学会の国際的認知を妨げてしまいます。日英完全対応とまではいかななくても、英語ページに必要な情報を掲載することで、本学会の国際化を促進させたいと思います。
- 年次大会用ウェブサイトの開設：これまで、年次大会はその大会ごとにオリジナルのウェブサイトを作成してまいりました。大会開催校に多大なご負担をいただくこの方式を今後は改め、年次大会のウェブサイトの一元化を図ります。
- ニューズレター・会報・その他会員の皆様への事務連絡や手続きの電子化：既存のニューズレター・会報等を電子化することで、印刷および郵送に関するコストを削減いたします。（削減化されたコストは、若手育成、国際交流に用います。）同時に、会員の皆様に必要な情報をすばやく供給することのできる体制を作ります。
- 名簿のクラウド化による会員情報の一括管理：会員情報を会員自身が把握し、情報の更新を行うことができるシステムを取り入れることで、ペーパーレス化を促進し、事務局業務の負担削減を目指します。
- 会員の交流の場になるようなウェブサイト：SNS 機能などをオプションで付け加えていくことによって (Facebook 連携など)、会員同士の交流の場となるようなウェブサイトを作成いたします。
- 非学会員や社会に向けての発信：学会や学会員から社会（非学会員）への情報発信、を強化することで日本生命倫理学会の社会に対するプレゼンスを高めます。そのために、学会員からの情報提供を整理し、簡便なしかたで情報をアップデートできる柔軟なウェブサイトを作成します。
- スマートフォンによる閲覧への対応：スマートフォンでの閲覧にも対応したデザインにすることにより、より多くの会員・非会員が利用するウェブサイトを作成します。
- 安定したサイトの運営：個人に委託している現在の方法から企業への委託に切り替えることにより、迅速な更新や Web 上の脅威にも対応できる体制を構築します。

3. ウェブサイトのコンテンツ

(1) 全体方針

一般ページと会員ページにわけ、会員ページは、ID とパスワードを会員の皆様ごとに発行します。それにともない会員名簿の整備を実施します。静的なページに加え、動的ページを作成します。動的ページはブログ形式などを使用し、簡便に情報更新ができるようにします。

(2) 会員ページのコンテンツ (案)

お知らせ	ブログ形式で簡単に情報発信できるしくみを構築します。タグをつけることで、情報を整理できるようにします。これまでの「会報」「メールマガジン」「ニューズレター」の代替です。メールによるご案内も併せて行いたいと思います。
会員情報	会員名簿を閲覧することができるとともに、住所や所属の変更など、各種ステータスの確認・変更を行うことができます。
各種申込	若手育成助成など、学会に申込をする際に使用できるページを整備したいと考えます。暫定的には、郵便振替の用紙や会員証、会費領収書のダウンロードを視野に入れます。将来的には、クレジットカードを使用した会費納入が仕組みを追加したいと考えています。
学会誌	投稿規定の掲示、並びに投稿用フォームを作成したいと思います。また、若手論文奨励賞に関する情報を掲示します。
資料集	学会の規約、規程(会則・細則集)、研究倫理に関するポリシー・e-learningのご案内、生命倫理的問題に関するトピックや重要資料集を掲載します。
アンケート回答、他	

(3) 一般ページのコンテンツ (日本語)

学会について	概要、会長挨拶、役員一覧・組織図、名誉会員、学会の歩み
お知らせ	学会から一般へ(大会の宣伝など、生命倫理学会から外部に情報提供したいもの)へのお知らせ、会員の皆様から一般へのお知らせ(ニューズレターなど)を整理します。学会誌、若手論文奨励賞についての情報などを掲載します。
年次大会	次回大会情報として概要、プログラム、参加登録フォーム、抄録登録フォーム、抄録ダウンロードなど整備します。将来的には、クレジットカードでの参加費登録、懇親会費支払いなどを考慮します。これまでの大会情報として大会のプログラムの他、可能であれば plenary speakers, keynote speakers の PPT 資料、できれば写真や動画などを掲載したいと考えています。
入会案内	入会の勧め、入会方法、入会手続きフォームを整備します。
その他	研究者検索機能(研究者情報とリンク)を設けます。また、窓口・お問い合わせ(連絡先)、連携学会のバナー・リンク、セキュリティ・ポリシーを掲載します。

(4) 一般のページのコンテンツ (英語)

- 学会について一概要、会長挨拶、学会の歩み
- お知らせ
- 年次大会ページ一次回大会情報、これまでの大会情報
- 入会の勧め・入会のしかた
- 学会誌一若手論文奨励賞、投稿規定、バックナンバーの英文タイトルとアブストラクト
- 連携している学会等・窓口・お問い合わせ(連絡先)

4. 名簿のクラウド化

セキュリティの高い外部のサーバーにて管理します。また、情報の公開に関しては、「外部」、「会員全体」、「事務局・会員個人のみ」の三段階で整理します。

5. ウェブサイトの管理

静的なページと動的なページとで分けて更新作業を行いません。静的なページについては情報委員会

の発注により、事業者が更新作業を行いません。動的なページについては、情報委員会の指示に基づいて事務局、ならびに委員会委員が更新作業を実施します。ウェブサイトのバックアップは事業者が実施します。

6. 構築にかかる費用（参考）

	A 社	B 社	C 社	現行サイト(会社ではない個人 A 氏)
ウェブサイト本体の作成ツール	バインド・クラウド 自由さは低いが、簡便	ワード・プレス 標準的で自由さは高い	ワード・プレス 標準的で自由さは高い	HTML+JavaScript (古典的・自由さは高い)
会員情報管理の作成ツール	シクミネット	シクミネット	自社開発	ウェブとは切り離し。紙ベース+動作保証のない名簿ソフト
構築費用（税抜）	2,000,000 円	4,220,000 円	6,000,000 円	
ランニング費用（税抜）	100,500 円 / 月	130,000 円 / 月	95,000 円 / 月	30,000 円 / 月 程度で変動
5 年を想定した全費用	803 万円	1202 万円	1170 万円	180 万円(個人への依頼、その都度の支払い+年間管理代)

7. 新規ウェブサイト構築により削減される経費

- ペーパーレス化、郵送代の削減(概算ではあるが、2017 年度の出費 440 万円のうち選挙関連 83 万円、HP 改定により約 350 万円・年の削減が望める。選挙のある年は電子投票制にすることにより 15 万円に抑えられる。従って、概算通りに運用できれば、5 年で約 1800 万円の経費削減が望める。)
- 選挙関連費用の削減
- 年次大会ウェブサイト構築費用

8. 新規ウェブサイト作成に関する課題（これまで理事会等で頂いたご意見のまとめ）

- コストがかかります（特にはじめの構築費用）。
- 現状のウェブサイトの拡充によってどこまでコスト削減できるのか、十分に検討されていません。（例：英文のウェブサイト作成、各種文書の電子化）
- 現状示されている案では、会員のニーズにもとづかない機能が実装される可能性があります。（例：会員同士の交流の場）
- 実装予定の機能を運用するのに必要な学会内のシステムが未整備であるため、実際には機能しない可能性があります。（例：社会への情報発信）
- ニュースレターなどを紙で配布しないことにより、会員への情報の周知が不十分になる可能性があります。

以上

情報委員会 飯島祥彦、加藤太喜子、河原直人（副委員長）
田中美穂、堂園俊彦、中澤栄輔（委員長）

会員の皆様のご意見提出期限 2019 年 1 月末日(方法は後日お知らせします)